

レクチャー&コンサート

モーツァルト ピアノ作品の魅力

後期の世界に分け入る

講師 ピアニスト 久元 祐子

晩年のモーツァルト ピアノ作品から珠玉の名曲を取り上げます。光と影のうつろい、対位法的な複雑さ、洗練された歌心、装飾の美学などモーツァルトの音楽が持つ比類の無さはどこから来るのか、その魅力に迫ります。(講師・記)



© 武藤 章

♪演奏予定曲目♪

- ・モーツァルト：ロンド イ短調 KV511
- ・モーツァルト：ピアノ・ソナタ ヘ長調 KV533/494

■日 時 2021年 10月2日 (土) 13:00~14:30

■受講料 会員 3,553円 (入会金は5,500円。70歳以上は入会金無料、証明書が必要です)
一般 4,653円

■設備費 165円
※入会金・受講料・教材費等は消費税10%を含む金額です。
※この講座の受講料には音楽使用料が含まれています。

■場 所 ルミネ横浜8階 (横浜駅東口)

<講師紹介> ひさもと・ゆうこ 東京藝術大学音楽学部を経て同大学院修士課程を修了。ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィル、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など、内外のオーケストラや合奏団と多数共演。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受けている。音楽を多面的に捉えたレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。

ブロードウッド(1810年頃製) ベーゼンドルファー(1829年製)、ブレイエル(1843年製)、エラール(1868年製)等のオリジナル楽器を所蔵。歴史的楽器を用いての演奏会や録音にも数多く取り組む。ショパン生誕200年の2010年には、全国各地でブレイエルを用いての演奏会に出演。


2011年ウィーンでのリサイタルは、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾り、世界でも数少ない「ベーゼンドルファー・アーティスト」の称号を受ける。イタリア国際モーツァルト音楽祭にたびたび招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。

これまでCD16作をリリース。「優雅なるモーツァルト」は毎日新聞CD特薦盤、レコード芸術特選盤に選ばれ、「ベートーヴェン テレーゼ」「ワルトシュタイン」はグラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」と絶賛される。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「モーツァルトはどう弾いたか」(丸善)など多数。国立音楽大学・大学院教授 <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

※ご入会の優待制度をご利用の方はお申し出ください。※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。

※状況によっては、オンライン講座に振り替える場合もございます。

 朝日カルチャーセンター

横浜教室 045-453-1122

〒220-0011 横浜市西区高島 2-16-1 ルミネ横浜 8階
<http://www.asahiculture.jp/yokohama>